JET MASTER®



JMK-2100型

株式会社 久野製作所

JET MASTER®

JMK-2100型

「推奨技術」
　国土交通省の新技術活用システム検討会議は、公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために、画期的な新技術を対象に「推奨技術」あるいは「準推奨技術」として選定しています。
「活用促進技術」
　国土交通省各地方整備局の新技術活用評価会議は、優れた技術の活用促進を図るため、「活用促進技術」を指定しています。活用促進技術は、活用効果評価において、総合的に活用の効果が優れている技術、特定の性能又は機能が特に優れている技術、特定の地域のみで普及しており全国に普及することが有益と判断される技術等に該当する技術から選考されます。

- **NETIS(新技術情報提供システム)登録機種**

◇登録番号　CB-180013-VE

◇技術名称　ウォータージェットはつり処理工法

◇技術の位置付け　「推奨技術」 令和6年度選定

「活用促進技術」 令和5年度選定



- **本技術は超高圧水によりコンクリート床版のはつり作業を行う工法です。人力では保持が不可能であった、大水量の超高圧水を機械に保持させ自動制御させることで、施工箇所に対し安定的、均一に噴射します。ウォータージェット工法の安全性と品質の向上に貢献します。**

JET MASTER®

概 要 ①

どんな技術なのか？

本工法は超高圧水によりコンクリート床版のはつり処理を行　う技術です。ウォータージェットによるコンクリートのはつりは、処理面に適度な凹凸を発生させ新旧コンクリートの一体化に貢献する工法です。また、躯体に振動を与えないことから、マイクロクラックの発生を抑えること、鉄筋を傷付けないなど多くの利点がある工法として、これまでも広く使用されてきました。本技術は、人力では保持が不可能であった、大水量の超高圧水を機械に保持させ噴射し、さらにノズルユニットを自動的に駆動させることで、安定的、均一にはつり作業を行います。また、危険で劣悪な環境且つ、熟練工でなければならなかった人力によるハンドガン作業を、より安全に、汎用的な作業に切り替える技術です。



JET MASTER®

概 要 ②

従来の施工方法

従来技術:ウォータージェット・ハンドガン工法

・ハンドガンを用いて、人力による作業を行っていた為、保持できる噴射反力に限界があった。

・作業員の技量により施工品質にばらつきがあった。

・作業員は飛散養生に囲われた中で、噴射反力を耐えながら、コンクリート破砕片や噴射水の跳ね返りを受け、視界の悪い中作業を行っており、劣悪な環境だった。



JET MASTER®

概 要 ③

適用工事

・橋梁補修においては、塩害、凍害、アルカリ骨材反応(ASR)、経年劣化等による劣化部、変状部の除去、耐震補強、拡幅など補修・補強工事などに幅広く適用できる。

・コンクリート床版の鉄筋及び健全部を活かした、劣化部、変状部の除去工で使用する。

・鋼製床版上のグースアスファルトなどの撤去等、鋼製床版を損傷させずに処理が可能。



JET MASTER®

施工事例







